

✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2018年11月26日 Verkehrs Rundschau

■ デュイスブルクのライン橋は多数のトラックの重量に耐えられない

VIELE LKW SIND FÜR DIE DUISBURGER RHEINBRÜCKE ZU SCHWER

デュイスブルクにおける崩壊の危険性のある A40 号のライン橋は慎重な扱いが必要である。そのためエッセン方面に向かう重量のあるトラックはこの橋を通行することができなくなる。これまでは数多くのトラックが重量オーバーであった。重量がオーバーしている車両は、2週間前からデュイスブルクの古い A40 号橋を通行することができなくなった。警察の取り締まりから明らかになったのは、これまで重量が大きすぎるトラックが 100 台以上走行していたことである。こうしたトラックは A40 号から別のルートへ誘導された。この措置の目的は、橋の保護である。重量オーバーのトラックは、この建築物に被害を与える原因となっているのである。

ドイツ 2018年12月3日 ZEIT

■ 連邦政府は、都市における大気浄化に対する支援を強化する

Bundesregierung erhöht Förderung für saubere Luft in Städten

地方自治体は、大気浄化を向上させる目的で、通行禁止を実施し、より多くの収入を得ることになる。これが連邦政府のディーゼルサミットの結論である。連邦政府は「大気浄化」支援プログラムを強化する。これは、アンゲラ・メルケル連邦首相（ドイツキリスト教民主同盟）が、地方自治体とのディーゼルサミット後に明らかにしたものである。このプログラムには5億ユーロが増額され、地方自治体の車両にハードウェアを装備するため、およそ4億3000万ユーロが支出される。交通大臣であるアンドレアス・ショイヤー氏（キリスト教社会同盟）と、環境大臣であるシュベンニャ・シュルツェ氏（社会民主党）は、2019年の夏期休暇の前に再度、地方自治体と話し合いを行うだろうと、メルケル氏は明らかにした。

フランス 2018年12月3日 ASFA

■ 若いドライバーと高速道路作業員の日（2018年）

Journée jeunes conducteurs et hommes en jaune (2018)

2018年11月21日、ASFAとAFTは、政府関係省および警察、消防、交通安全対策協会等の後援の下に「若いドライバーと高速道路作業員のオペレーション・セキュリティ」を開催した。ここ3年間、高速道路作業員が犠牲者となる事故の発生件数が急増している。この事態を重く見たASFAとAFTは、将来、運輸部門で自動車を運転することになる若者たちに、高速道路作業員の安全に関する意識向上を図るため、このイベントを企画した。この日、多数の交通安全に関するワークショップや衝突実験が開催された。

フランス 2018年12月4日 Le Figaro

■ 制限速度の度重なる変更

La folie des variations incessantes de limitations de vitesse

Auto Plus誌は、制限速度80km/hの導入以降、制限速度があまりにも頻繁に変更されていると批判している。141kmの距離を走行する間に130回も制限速度が変わるのである。制限速度80km/hは7月に導入されたが、その際に、それまでの90km/hが廃止されたわけではない。そのために、現在では、一部の区間において、多数の制限速度の変更が見られ、多くのドライバーが戸惑い、畏に落ちている。中央分離帯のない1車線道路を走行する際の制限速度は、標識がなくとも80km/hである。しかし、片側2車線になると、通常これが90km/hとな

る。いずれの場合においても、地方の交通管理当局には標識を立てる義務はない。法律を知らないドライバーに非があることになる。しかし、中央分離帯のない片側2車線道路で制限速度90 km/h未満が適用されている場合は標識の設置が必要であり、工事中または工事終了後でも、暫定的制限速度は適用されるために、速度違反検知装置には注意が必要である。

パキスタン 2018年12月7日 BUSINESS RECORDER

■ 総合ニュースー NHA が幹線道路、高速道路の料金所を機能強化

General News – NHA upgrading toll plazas on highways, motorways

国道公団 (NHA) は、率先して連邦管轄下の幹線道路および高速道路網における料金所の改良およびアップグレードを推進しており、これまでに21カ所の料金所の機能強化が完了している。現政府の構想に基づき、NHAは救急箱/キットの提供、冷蔵庫、飲料水、運動場、6人以上が座れる場所、男女用のトイレ設備の利用を実現するために準備を進めてきたと、木曜日 NHA 職員は述べた。同職員によると、上記以外に、消火器の設置、料金所および進入区域の清潔さ、ご意見ボックス、十分な照明の配置、料金所および料金所ブースの塗装、ならびに植樹化による沿線の美化などの対策も講じている。同職員は11月29日、21カ所の料金所にその設備が装備された一方で、残りの料金所は12月末までに機能強化される予定であると述べた。

フランス 2018年12月11日 Le Figaro

■ 「黄色ベスト」ストライキ (増税反対ストライキ) 以降、半数以上の速度違反検知装置が壊されている

Près de la moitié des radars hors service depuis le mouvement des «gilets jaunes»

「黄色ベスト」ストライキ (増税反対) 以降、半数以上の速度違反検知装置が壊されている。「黄色ベスト」ストライキでは速度違反検知装置が標的にされている。燃やされ、ペンキを塗られ、袋や黄色ベストで覆われ、今日では約1,500台が故障している。まさに死屍累々と言えるだろう。「黄色ベスト」の怒りが続けば続くほど、速度違反検知装置が故障する。Europe 1放送局によれば、全国設置台数の半数が壊れているとのことである。ただし、交通安全当局はこれを公式には認めていない。こうした蛮行がエスカレートすることを避けるために、同局の方針はストライキ開始時から変わっておらず、こうした数字に対するコメントは一切ない。

アメリカ 2018年12月22日 The States

■ マサチューセッツ州、華やかな新交通機関の世界に備える

Massachusetts prepping for brave new transportation world

準備が整っているかどうかに関わらず、マサチューセッツ州は大急ぎで真新しい交通機関の世界へと飛び込む予定である。空飛ぶ車は含まれないかもしれないが、州指導者は自動運転車、未来の完全電気自動車、気候変動に対する交通ネットワークのレジリエンスおよび大都市ボストンにおける通勤鉄道システムの計画的再開発への道筋をつけることを目指している。同州における交通機関の未来に関する州委員会によって今月公開された分厚い2巻の報告書の提案には、同州に対して「マサチューセッツ州で販売される新しい車、軽量トラックおよびバスを全て2040年までに電動式にする」という目標を掲げるべきとの提案が含まれている。

ドイツ 2018年12月18日 ZEIT

■ 環境支援協会は制限速度120 km/hの効果を検証している

Umwelthilfe prüft Chancen für Tempolimit 120

ドイツ環境支援協会 (DUH) は、ドイツのアウトバーンでの速度制限を制定するために、通例にない規制を

希望している。EUの気候変動対策は不十分であるとの考えである。DUHは、ドイツのアウトバーンにおいて時速120 km/hの制限速度を導入する法的可能性を検証している。これにより、交通における気候保護は、すでに道路上に存在する自動車も対象とすることができると、DUH代表であるユルゲン・レッシュ氏が述べた。